

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

お客様の暮らしのために。地域とともに、地球とともに、成長・発展し続ける。

売上高
2,530億円営業利益
175億円顧客件数
346万件ROE
10.8%

② 中長期の経営戦略

1. 事業収益力の成長

顧客基盤の拡大や新たな付加価値の創造。エネルギー、情報通信、CATV、建築設備不動産、アクアなどで成長を図る。

2. 持続的成長基盤の強化

社会課題、地域課題、気候変動などの環境課題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献。

3. 人財・組織の活力最大化

人財育成やダイバーシティの推進、働きがいのある環境整備に注力し、従業員のエンゲージメント向上。

4. 事業ポートフォリオ経営

資本収益性と市場成長性の二軸で事業評価し、経営資源の効率的活用と企業価値向上を実現。

③ 対処すべき課題

① エネルギー事業

- ・低・脱炭素化への取組とGX推進。カーボン・オフセット都市ガスやPPAモデル活用に注力。
- ・人口減少とエネルギー事業者間の競争対応。DX活用による業務効率化とコスト低減。
- ・顧客の利便性向上による差別化で競争優位性確保。

② 情報通信事業

- ・市場成熟化によるコンシューマー向け競争激化。効率的運営と解約率低減に注力。
- ・法人向けの技術革新対応と技術者確保・育成が課題。クラウドサービス…

③ CATV・建築設備不動産・アクア事業

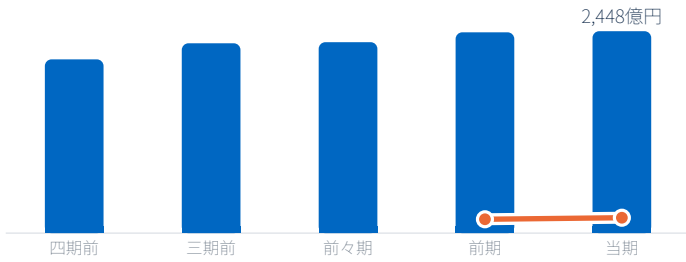
- ・CATV：大手通信事業者との競争激化。地域に寄り添う番組作りと顧客ニーズに合わせたサービス提供で差別化。
- ・建築設備不動産：ネット・ゼロ・エネルギー化推進と総合建設事業者としての事業拡大。
- ・アクア：環境配慮材質使用、循環再利用促進。コスト管理と顧客獲得強化を両立。

面接で使えるポイント

- ・中期経営計画2025で売上高2,435億円達成、8期連続増収・過去最高更新達成。成長基盤確立。
- ・エネルギー、情報通信、CATV等5事業でお客様や地域に不可欠なインフラを安定提供。
- ・人財育成、ダイバーシティ推進、働きがい環境整備で従業員エンゲージメント向上と持続的成長実現を目指す。

証券コード 3167

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,448億円

営業利益率
7.6%

財務健康度
40点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 57.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
695万円

卸売業内 127位/282社

平均年齢
39.9歳

卸売業内 223位/283社

平均勤続
13.3年

卸売業内 152位/282社

女性管理職
11.4%

卸売業内 60位/209社

男性育休
150.0%

卸売業内 3位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

株式会社T O K A Iホールディングス 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

